

第58回教育課程小委員会議事録

1 日時・場所

2015年4月18日（土） 13：00－17：55 私立海城高校

2 参加者

矢島ミ、渡邊、根本、畠山、瀧上、宮嶋、南島、川村、上村、藤原、飯田、小林

3 前回議事録案の承認

一部標記の誤りを修正して承認された。

4 中教審関連・理数系学会・他研究団体等の情勢報告

○中教審関連

- ・教育課程企画特別部会が順次進行中（1/29、2/10、3/11、3/26、4/15）であることが報告され、3/26の議事次第が資料として紹介された。

○理数系学会・他研究団体等

- ・4/2日本地質学会が、次期学習指導要領改訂に関する要望書を文科大臣に提出したことが報告された。
- ・鉱物科学会の学会記事に、高校地学の学習指導要領変遷に関する紹介が掲載されることが報告された。
- ・5/16にCSERSのシンポジウム「小・中学校間での系統性を重視した連携を考える」が開催されることが報告された。

○その他

- ・国際地学オリンピックについて、第9回大会の最終選考が行われたこと、第10回の三重大会の寄付が目標額を下回っており各方面に協力を要請したいことが報告された。
- ・京大名誉教授・竹本氏が呼びかけ人として行っている地学教育研究集会が、今年は京大・防災研で行われることが報告された。

5 協議

(1) 今年度連合大会・パブリックセッションについて

○進捗状況

- ・当日の時間設定（講演時間、休憩時間、総合討論）が確定したことが報告された。

○今後の準備

- ・地学系の2つの講演（地学基礎アンケート調査の分析、地学基礎の改善案）の内容について、5月小委員会にて最終的に決定することを確認した。
- ・講演要旨の執筆の依頼について、連絡担当を決め、テンプレートと共に依頼することを確認した。また、講演要旨はA4で2枚までとし、原稿〆切を5/8としたこととした。
- ・講演要旨冊子の印刷、綴じ込みは、担当を上村委員に依頼することを確認した。

(2) 地学基礎アンケート調査の結果について

- ・最終回答数222通となったことが報告され、結果の報告を小林委員が行った。

(3) 連合大会発表内容の検討について

○アンケート調査から見た「地学基礎」の現状と課題および改善点について（小林）

- ・興味深い結果が浮かび上がってきたが、今回は、時間的な制約から、クロス分析まで踏み込まず、結果をありのままに報告することとすることで意見の一致をみた。

○次期学習指導要領における高校地学教育のあり方（藤原）

- ・話の主たるテーマとして、①ESDやFuture Earthに地学の内容がどう必要となるのか、②学習の方法として必要なことは何か、を取り上げることで合意した。
- ・上記の観点から、基礎的な地学の内容を選択してゆく必要性があることを確認した。
- ・講演では、概念的な話ではなく、具体的なテーマを設定して、上記の観点をどう組み込んで授業を行うかについて一例を示すことを目標とする。

6 次回小委員会

5月9日（土）10：00から、海城高校を会場として行うことを決定した。

